

2010 年度 JAMS 会員総会議事録

事務局

2010 年 12 月 11 日(土)、防衛大学校において 2010 年度日本マレーシア学会 (JAMS) の会員総会が行われた。

【議長選出】

吉村真子会員が議長に選出された。

【報告事項】

担当の各委員から活動内容に関する報告が行われた。

1. 運営委員長

西尾運営委員長より、総会の委任状について、(1)所定の様式に記入したものをメールで送付する、(2)所定の様式に手書きで記入したものをファックスで送付する、(3)所定の様式に手書きで記入したもまたは捺印したものを郵送で送付する、の 3 通りで受け付けることが報告された。

2. 事務局

総務

西委員より、日本マレーシア学会が地域研究学会連絡協議会と地域研究コンソーシアムに加盟したことが報告された。また、会報 1 号を発行して年度内にあと 2 号発行する予定であることが報告された。

山本委員より、マレーシアに関する邦人向けオンライン経済ビジネス情報誌である『NNA マレーシア』に毎月 1 回「知識探訪」コーナーが設けられ、JAMS が担当していることが報告された。

会計

坪井委員より、配布資料をもとに 2010 年度の

会計執行状況と執行見通しが示された。

会員情報

篠崎委員より以下の報告がなされた。

(1)会員数

2009 年度末の 191 名より 5 名増え(内訳は入会者が 6 名、退会者が 1 名)、2010 年 12 月 11 日の時点で会員数は 196 名である。

(2)権利の停止および除籍

31 名の会員が権利の停止の対象者(2008 年度以降の会費滞納者)となっている。

(3)名簿の発行

2010 年 11 月 30 日時点の会員情報に基づき、2010 年 12 月 10 日に会員名簿を発行し、JAMS ウェブサイトに掲載することを通じて会員に配布した。

ウェブサイト

新井委員の報告が西尾運営委員長によって代読された。今年度から会報が電子版による配布となったことを受けて、会報 1 号がウェブサイトに掲載された。来年度も、研究会等の情報の迅速な掲載や見やすいウェブサイト構築のため、JAMS ウェブサイトに対する意見や要望があれば広報担当運営委員にご一報いただきたいとの呼びかけがなされた。

3. 社会連携ウイング

西尾運営委員長より川端ウイング長の代理として社会連携ウイングの活動について報告はないことが伝えられた。

4. 研究連携ウイング

大会

金子委員より、2010 年度研究大会は西尾寛治

会員のご協力により防衛大学校で開催したことが報告された。また、2011 年度研究大会は関東近辺で開催する方向で調整中であることが報告された。

地区活動

(1) 関東地区

金子委員より 2011 年 3 月に関東地区研究会を開催する予定であることが報告された。

(2) 関西地区

西尾運営委員長の代読で多和田委員より関西地区の活動が以下のように報告された。

第 1 回研究会 (2010 年 11 月 20 日、大阪市立大学)

報告 1: 上田達 (摂南大学講師) 「スクオッター集落と村: コタキナバルのあるカンボンの事例から」

報告 2: 櫻田涼子 (京都大学 GCOE 研究員 / 筑波大学研究員) 「低価格住宅におけるマレーシア華人の住宅改造と住まいの諸実践」

連携研究会

・日本マレー世界研究会 (JA'AM)

西尾運営委員長 (JA'AM 世話人) より、今年度の JA'AM の活動が以下のように報告された。

第 1 回研究会 (2010 年 7 月 4 日、立教大学)

報告: 弘末雅士 (立教大学) 「西尾寛治・山本博之編著『マレー世界における公正 / 正義概念の展開』(京都大学地域研究統合情報センター、2010 年) における論議と今後の展望」

5. 学会誌編集

金子委員より、2010 年度末の発行をめどに学会誌発行の準備が進められていることが報告された。オンラインによる会誌発行に関する質問があり、金子委員よりオンライン出版も検討しているとの回答があった。

【審議事項】

1. 2009 年度の会計報告について

坪井会計委員より配布資料に基づいて 2008 年度の会計報告がなされ、永田監査より監査結果が報告され、いずれも承認された。また、坪井会計委員より 2011 年度予算が示され、承認された。